

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|--------------|---|---|------|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 職員の配置数は適切であるか | 85% | 15% | 0% | ・子供の数に対して職員の数が適切 |
| | ② | 変更申請等を適切に行っているか | 92% | 8% | 0% | ・変更があれば、都度申請している |
| | ③ | 運営規定等、事業所内に適切に 貼りだしているか | 100% | 0% | 0% | ・変更があれば、変更した個所を直 し張り出している |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるため、目標を持って職員が 参画し、振り返りを行っているか | 85% | 15% | 0% | ・1日の終わりに職員全体で振り返り を行い改善に努めている |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか | 78% | 22% | 0% | ・毎年実施して張り出している。 また、職員全体で確認している |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか | 92% | 8% | 0% | ・集計後にホームページで公開して いる |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか | 35% | 50% | 15% | |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか | 100% | 0% | 0% | ・毎週火曜日に実施している ・カンファレンスや振り返りなどがあ り、資質の向上が出来る機会がある |
| 適切な支 援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成しているか | 92% | 8% | 0% | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか | 71% | 29% | 0% | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案を行っているか | 92% | 8% | 0% | ・その日の子供の様子によって立案 を変更したりして工夫ができています |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか | 100% | 0% | 0% | ・プログラムが被らないように毎日工 夫している |
| | ⑬ | 平日、土曜日、長期休暇に応じて、課題をき め細やかに設定して支援しているか | 78% | 22% | 0% | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか | 78% | 22% | 0% | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか | 100% | 0% | 0% | ・児童来所前に打ち合わせを行い、 内容、役割分担をしている |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか | 71% | 29% | 0% | ・振り返りを共有し、次回に生かせる ように工夫している |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|------|-----|-----|-------------------------------|
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 82% | 18% | 0% | |
| | ⑲ | 送迎車等の整備・点検等、適切に行われているか | 85% | 15% | 0% | |
| | ⑳ | 自由時間・療育等で使用する遊具等の備品は、安全面に配慮し点検されているか | 78% | 22% | 0% | ・使う前に確認・点検をし、安全面に配慮している |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | 0% | ・管理者、児童発達管理責任者が参加している |
| | ㉒ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 92% | 8% | 0% | ・児童の様子を学校と共有している |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 64% | 36% | 0% | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 57% | 43% | 0% | |
| | ㉕ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 63% | 27% | 10% | ・コロナウイルス感染拡大に伴い参加をすることが出来ていない |
| | ㉖ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 92% | 8% | 0% | ・職員間で児童についての情報を共有し連携出来ている |
| | ㉗ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・希望者のみ行っている |
| 保護者への説明責任等 | ㉘ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 92% | 8% | 0% | |
| | ㉙ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 92% | 8% | 0% | |
| | ㉚ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0% | 64% | 36% | ・コロナウイルス感染拡大に伴い実施していない |

| | | | | | | |
|---------|----|---|------|-----|-----|-----------------------------------|
| | ③① | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 100% | 0% | 0% | ・すぐに職員全体で共有し再発防止と対策案を話し合っている |
| | ③② | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 42% | 29% | 29% | ・会報は作っていないが日々の活動内容は連絡ノートでやり取りしている |
| | ③③ | 個人情報に十分注意しているか | 92% | 8% | 0% | ・情報が漏洩しないためにしっかり書類を管理している |
| | ③④ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 92% | 8% | 0% | |
| | ③⑤ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 57% | 35% | 8% | ・夏祭り等を実施し地域の方々と交流を行っている |
| 非常時等の対応 | ③⑥ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 75% | 25% | 0% | |
| | ③⑦ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 78% | 22% | 0% | ・毎年研修を行っている |
| | ③⑧ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 85% | 15% | 0% | ・必要な児童の保護者へ説明と承諾を得ている |
| | ③⑨ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 78% | 22% | 0% | |
| | ④⑩ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 78% | 22% | 0% | ・都度、ヒヤリハットを作成することとなっている |